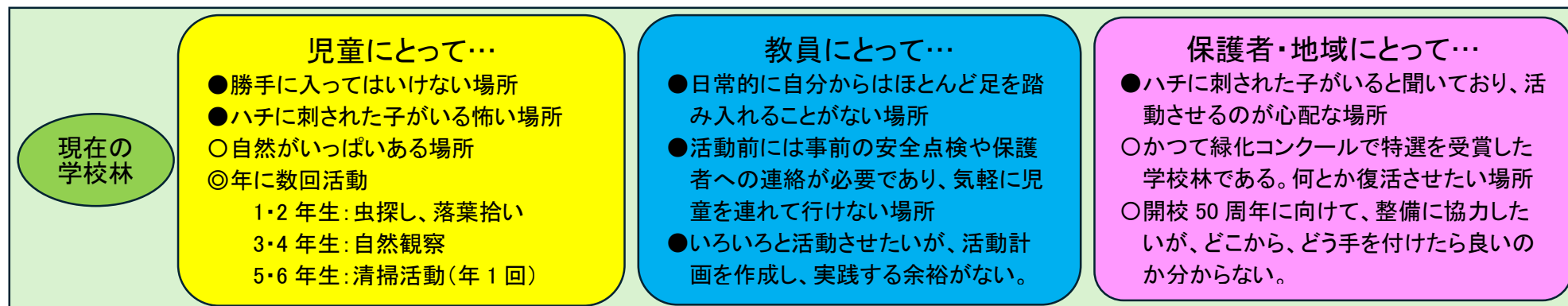


○事業名 学校林のさらなる活用の推進

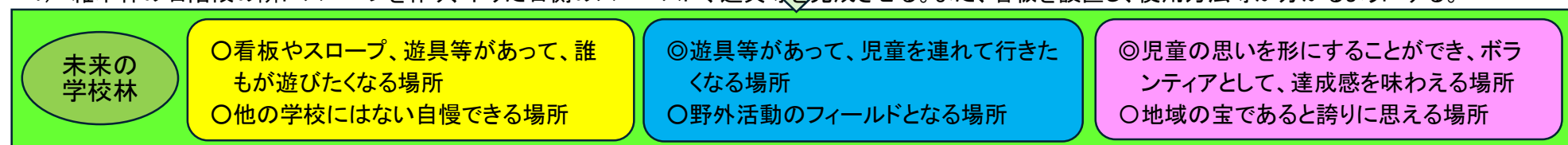
○事業内容 4年生やCS等を中心に学校林を整備し、児童が日常的に活動でき、学校の自慢と思える場にする。

○歴史 最盛期は、児童が植物や生き物と触れ合う場として活用されていた。平成16年には、全国学校関係緑化コンクールで特選を受賞している。



○事業の流れ

- 1) 4年生が未来の学校林をデザインする。*みんなが使えるように道を整備したり、スロープを作ったりする。遊べる遊具等(平均台、ハンモック)を作る。
- 2) 採用された活用案をもとに制作計画を立てる。*必要な材料や木材の調達方法を考え、用意する。
- 3) 材料を使って、制作する。児童の作業、保護者ボランティアの作業に分ける。*制作する者によっては、業者や専門家からの指導助言を受ける。
- 4) 雑木林の右階段の隣にスロープを作り、下りた右側のスペースに、遊具等を完成させる。また、看板を設置し、使用方法等が分かるようにする。



○期待される成果

- 児童の発案を基に、教員や保護者、地域の方など、多様な方が参画することで、学校教育基本構想の方針の一つである「みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる」の実現につながる。
- これまで、毎週火曜日の朝に16の場で行っていたアクティブスポーツの場が増え、バランス感覚や体幹を鍛えることができる。
- 学校運営協議会(CS)で、購入していただいた草刈り機や電動のこぎり等を活用できる。PTAボランティアや雑木林ボランティア(こもれび隊)が、雑木林の整備を通して、児童の活動に役立つ達成感を味わうことができる。
- 来年度以降、4年生を皮切りに、他学年でもいろいろな案を出し、探究しながら対話的・協働的に学ぶことができる。また、児童が、雑木林を自慢に思い、愛校心や郷土愛を高めることにつながることを期待できる。

